Hanwha Vision

ネットワークカメラ
ユーザーマニュアル

QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R
QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP

CE

ネットワークカメラ
ユーザーマニュアル

Copyright

©2025 Hanwha Vision Co., Ltd. All rights reserved.

商標について

本書に記載されている各商標は登録済みです。本書に記載されている本製品の名称およびその他の商標は、各社の登録商標です。

制約について

本書の著作権は留保されています。どのような状況であっても、本書の一部または全体を複製、配布または変更するには、正式な認可が必要です。

免責事項について

Hanwha Vision はマニュアルの完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。このマニュアルの使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。
Hanwha Vision は事前の通知なしにこのマニュアルの内容を変更する権利を留保します。

※ 設計および仕様は予告なく変更する場合があります。

※ デフォルトの管理者IDは"admin"です。パスワードは初めてログインするときに設定する必要があります。
個人情報を安全に保護し、情報窃盗による被害を防ぐため、パスワードは3か月ごとに変更してください。
パスワードの不正管理によって発生したセキュリティおよびその他の問題は、ユーザー側の責任であることに御注意ください。

重要な安全ガイド

1. 本書の説明をよく読んで下さい。
2. 本書の指示を守ってください。
3. 全ての警告を留意してください。
4. 全ての指示に従って下さい。
5. 本機を水の傍で使用しないで下さい。
6. 柔らかく乾いた布か湿った布で製品表面の汚れた部分を拭き取ります。
(アルコール成分、溶剤、界面活性剤や油分を含む洗剤や化粧品を使用しないでください。製品の変形や損傷につながる恐れがあります。)
7. どの換気孔も塞がないようにして下さい。メーカーの指示に従って取り付けて下さい。
8. ラジエーター、熱レジスタ、あるいは熱を発するその他の装置（アンプを含む）などの熱源の傍に設置しないで下さい。
9. 分極タイプあるいは接地タイプのプラグの安全目的を必ず守ってください。 分極プラグには一方が他方より幅広い2本の足が付います。 接地プラグには2本の足とアース（接地）差込み先が付いています。2本の平たい足あるいは3本めの差込み先はユーザーの安全のために付いています。提供されたプラグがお使いのコンセントに合わない場合には、旧式のコンセントの交換について電気技師にご相談下さい。
10. 特にプラグ、ソケット、機器との接点でコードが踏まれたり引っ張っられたりしないよう電源コードを保護してください。
11. メーカーが指定する付属品のみを使用してください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケットはメーカー指定のもの、あるいは製品と一緒に販売されたもののみを使用してください。 カート使用する場合、カートと製品を動かす際には転倒による損傷に注意してください。

13. 雷雨のときまたは長期間使用しないは場合は、製品の電源プラグを抜いてください。
14. 全ての修理は資格のあるサービス・スタッフに任せて下さい。修理は電源コードあるいはプラグの損傷、液体をこぼした、または物体を機器内に落としてしまった、機器を雨や湿度にさらしてしまった、正常に機能しない、あるいは機能の低下など、様々な原因で機器が損傷した場合に必要となります。
15. この製品は「2等級」や「LPS」表示があります。そして12Vdc、0.55AやPoE(48V)、0.16A定格で登録された電源供給デバイスで電源を供給する仕組みです。 (QND-6072R/6082R, QNV-6072R/6082R/6082RLP)
16. この製品は「2等級」や「LPS」表示があります。そして12Vdc、0.54AやPoE(48V)、0.16A定格で登録された電源供給デバイスで電源を供給する仕組みです。 (QND-6012R/6022R/6032R, QNV-6012R/6022R/6032R)
17. この製品は「2等級」や「LPS」表示があります。そして12Vdc、0.55AやPoE(48V)、0.16A定格で登録された電源供給デバイスで電源を供給する仕組みです。 (QNO-6072R/6082R/6082RLP)
18. この製品は「2等級」や「LPS」表示があります。そして12Vdc、0.51AやPoE(48V)、0.15A定格で登録された電源供給デバイスで電源を供給する仕組みです。 (QNO-6012R/6022R/6032R)
19. 本製品接続の外部電源は、絶縁電源を使用してください。
20. 製品取付け時に力を入れ過ぎると、カメラが損傷し、誤作動を起こす場合があります。
適切でないツールを使用して製品を力まかせに取り付けると、カメラが損傷する場合があります。
21. 化学物質やオイルミストが存在する、または生成される可能性のある場所には製品を取り付けないでください。大豆油のような食用油によって製品が損傷を受けたりゆがんだりするため、キッチンやキッチンテーブル付近には製品を取り付けないでください。
製品に損傷を与える原因となります。
22. 製品を取り付ける場合、製品表面が化学物質で汚染されないように注意してください。
クリーナーや接着剤のような化学溶剤は、製品表面に深刻な損傷を与える原因となります。
23. 推奨されない方法で製品を取り付け/取り外した場合、製品の機能/性能は保証できません。
ユーザーマニュアルの"取付けと接続"を参照して製品を取付けます。
24. 水中での製品の取付けや使用は、製品への深刻な損傷の原因となります。
25. 急激な温度変化が発生する場合、ドーム内部に霧が発生することもありますが、映像には問題ありません。

警告

火災または感電防止のため、この装置を雨または湿気にさらさないでください。本製品の換気グリルまたはその他の開口部から金属製物質を差し込まないでください。

製品に液体をこぼしたりかけたりせず、また花瓶のように液体が入った物体を製品の上に載せたりしないでください。

損傷を防止するため、本製品を設置説明に従って壁/天井にしっかりと取り付けてください。

注意

注意

感電の危険がありますので開けないで下さい

注意：感電の恐れがありますので裏カバーは開けないで下さい。
如何なる場合にも本品の分解や改造を行わないで下さい。
資格のあるサービス・スタッフにお問い合わせ下さい。

グラフィック記号の説明

正三角形内の稲妻型の矢印は、本製品の筐体に人が感電する恐れのある"高圧電流"が存在することを、ユーザーに警告するものです。

正三角形内の感嘆符は、製品の操作およびメンテナンス（修理）に関する重要な付属説明書があることをユーザーに知らせるこものです。

クラスI構造

クラスI構造を持つ装置は保護接地接続のある本線ソケットに接続してください。

バッテリー

電源(バッテリーパックまたは取り付けた状態のバッテリー)は直射日光の当る場所や、熱器具の近くには置かないでください。

バッテリーは交換できません。

デバイスの切断

問題がある場合は、装置からメインプラグを抜きます。次にお住まいの地域の修理会社に電話してください。

米国外では、認証機関が採用している取付け金具用のHARコードが使用される場合があります。

注意

電池を間違ったタイプと交換すると爆発の危険性があります。
指示に従って使用済み電池を処分してください。

これらの保守説明書は、資格のあるサービススタッフのみが使用するものです。
感電の危険性を低減するために、資格がある場合を除き操作説明書に含まれていない修理は行わないでください。

本製品のテストモニター出力ポートは、外部デバイスとのインストールを容易にするために提供されており、監視目的にはお勧めできません。

入力電源は1台のカメラにのみ使用し、他のデバイスを接続しないでください。

ITEは、外部の施設へルーティングなしで、PoEネットワークのみに接続することになっています。

次に示す安全のための推奨注意事項を熟読してください。

- 本製品は平らな場所に置いてください。
- 直射日光の当たる場所、暖房設備または低温区域の近くには取付けないでください。
- 本製品を導電性の高い物体の近くに置かないでください。
- 本製品は自分で修理しないでください。
- 本製品の上に水の入ったコップを置かないでくだ
- 磁気源のそばに取付けないでください。
- 換気口は塞がないようにしてください。
- 本製品の上に重いものを置かないでください。
- カメラを取り付ける/取り外すときは、保護手袋を着用してください。
  製品表面は高温になるため、やけどの原因となる場合があります。

ユーザーマニュアルは、本製品の使用方法に関するガイドブックです。

このマニュアルで使用する用語の意味を次に示します。

- 参照: 製品の使用方法についてのヘルプ情報を示す場合。
- 注意: 指示に従わないことで、ものや人に損害が発生する可能性がある場合。

※ 製品を使用する前に安全のためこのマニュアルを読み、大切に保管しておいてください。

特定なインストール環境で無線通信に干渉が発生する場合があります。
製品と周囲の無線通信デバイスの間に電磁波干渉が発生する場合、無線通信デバイスとの間隔を拡張したり、通信用のアンテナ方向を調整することをお勧めします。

警告

IR LEDによる損傷防止のために動作ランプを見ないでください。

下記の型名のみです。

QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R
QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP

危険グループ1
警告該当製品では、IRが放出されます。 **動作ランプを見ないでください。**
IEC 62471テストをパスした製品です。

目次

概要 3

3 重要な安全ガイド
6 お奨めする PC 仕様
6 推奨マイクロSD/SDHC/SDXCメモリカード仕様
6 NAS推奨仕様
7 キット内容
8 概観 (QND-6012R/6022R/6032R)
10 概観 (QND-6072R/6082R)
12 概観 (QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP)
14 概観 (QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP)

取付けおよび接続 16

16 取付け (QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R)
17 取付け (QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP)
18 取付け (QNV-6012R/6022R/6032R)
20 取付け (QNV-6072R/6082R/6082RLP)
23 マイクロSDメモリカードの挿入/取出し
27 電源とネットワーク

ネットワーク接続と設定 31

31 カメラを直接ローカルネットワークに接続する
31 カメラを直接DHCPベースのDSL/ケーブルモデムに接続する
32 Device Managerを使用する
32 プロジェクト設定
32 自動にカメラを検索する
32 IPアドレスを設定する
34 手動でカメラを登録する
34 自動にIPを設定する
34 ートフォワード（ポートマッピング)の設定
35 共有ローカルPCからカメラへの接続
35 リモートPCからインターネット経由でのカメラへの接続

WEB VIEWER 36

36 カメラへの接続
37 パスワード設定
37 ログイン
37 カメラ・ウェブビューアーの設定

付録 38

38 トラブルシューティング

お奨めする PC 仕様

- CPU ：Intel(R) Core(TM) i7 3.4 GH以降
- RAM : 8G以上
- 対応OS : Windows 7, 8.1, 10, Mac OS X 10.12, 10.13, 10.14
- 推奨するブラウザ：Google Chrome
- サポートするブラウザ：MS Explore11, MS Edge, Mozilla Firefox(Window 64bitのみ), Apple Safari(Mac OS Xでのみサポート)
- VGA : PCIeをサポートする256MB以上のビデオGDDR3以上のメモリをサポートするグラフィックカード

推奨マイクロSD/SDHC/SDXCメモリカード仕様

- 推奨容量 : 推奨容量：16GB～128GBMLCタイプ）
- 推奨製造会社：SanDisk、Transcend
- 製品群：High endurance
- カードの製造会社別/タイプ別の互換性は異なる場合があります。

NAS推奨仕様

- 推奨容量 : 200GB又はそれ以上を推奨します。
- 同時アクセス : NAS1台で最大16台のカメラ接続を受けられます。
- このカメラのために、NASを以下の製造仕様で利用することを推奨します。

推奨製品	入手可能なサイズ
QNAP NAS	最大16台のカメラが同時にアクセスできます。
Synology NAS	最大16台のカメラが同時にアクセスできます。

- NAS装置をビデオ映像の保存以外の目的で使用する場合、利用できるカメラの数は減る場合があります。

キット内容

製品パッケージに、カメラと付属品がすべて同梱されていることをご確認ください。
（販売国ごとに付属品が異なるため。）

外観	品目名	数量	説明	モデル名
	カメラ	1		QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R
		1		QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
		1		QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
	クイックガイド(オプション)	1		QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R, QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP, QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
	保証書(オプション)	1		QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R, QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP, QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
	テンプレート	1	製品設置ガイド	QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R, QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP, QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
	電源端子台	1	電源プラグに差し込む	QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R, QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP

外観	品目名	数量	説明	モデル名
	L型レンチ	1	カメラの方向を操作するために使用	QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
	Lレンチ(星型)	1	ドーム型カバーを取り外し、交換するために使用	QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
	アラームケーブル	1	アラームに接続するときに使用	QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R
	RJ45防水アクセサリー	1	湿気のある場所に取り付けるために使用	QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
	サンシェード	1	カメラを直射日光から保護します	QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
	サンシェード固定ネジ	1	サンシェードをカメラに固定します	QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
	電源ケーブル	1	電源ポートへプラグを差し込むために使用	QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
	オーディオ/アラームケーブル	1	オーディオポート及びアラームポートへの接続に使用	QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
	テストモニタ用ケーブル	1	ポータブルディスプレイデバイスとカメラとの接続をテストするために使用します	QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R, QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP, QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP
	ケーブルブッシュ	1	LANケーブル接続時使用	QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP

外観	品目名	数量	説明	モデル名
	キャップインストーラー	1	RJ45ケーブル接続時に使用	QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP

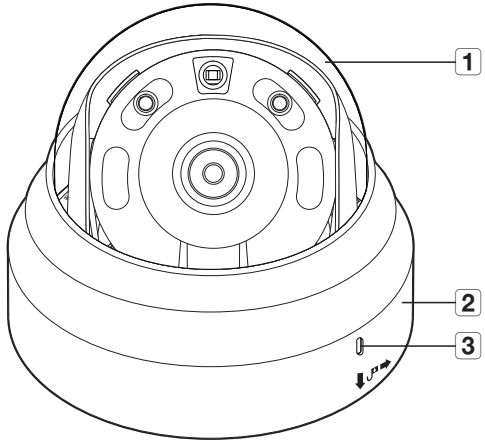
設置のためのオプション付属品

設置を容易にするため、適切なオプション付属品を購入できます。

型名	フック型マウント	バック・ボックス	ポール型マウント	共通
QNV-6012R/6022R/6032R	SBP-122HMW	SBV-120GW		SBP-300LMW (パラペット型マウント) SBP-300CMW (シーリングマウント) SBP-300WMW1 (壁マウント) SBP-300NBW (設置用ボックス) SBP-300PMW (ポール型マウント) SBP-300KMW (コーナー型マウント)
QNV-6072R/6082R/6082RLP	SBP-301HMW2	SBV-136BW		
QND-6012R/6022R/6032R	SBP-300HMW7			
QND-6072R/6082R	SBP-122HMW			
QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP		SBO-100B1	SBP-302PM	

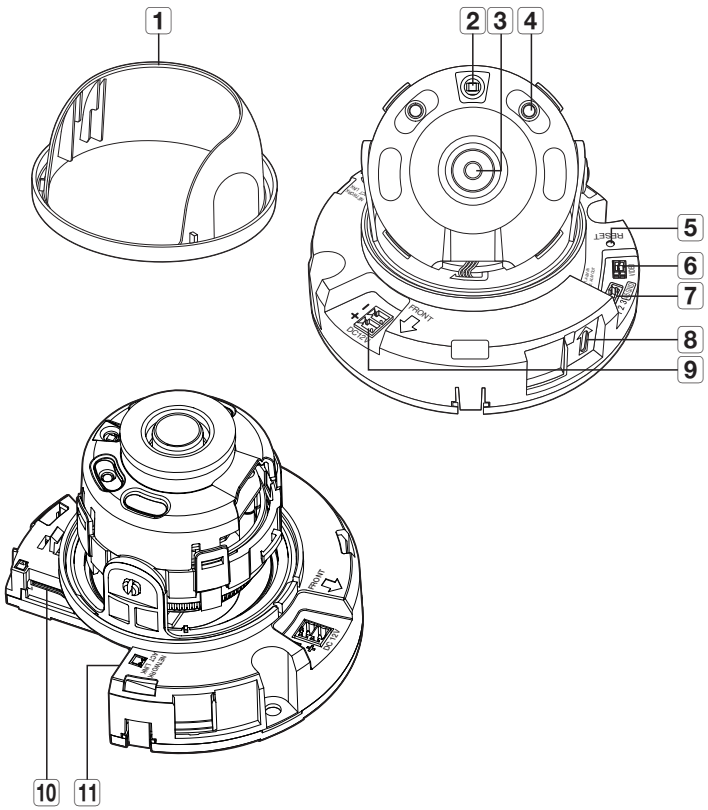
概観 (QND-6012R/6022R/6032R)

外観



項目	説明
1 ドームカバー	レンズとメインユニットの保護に使用するケースカバー。
2 カメラケース	カメラ本体を保護するハウジング部分。
3 マイクの穴	マイクは内蔵されています。

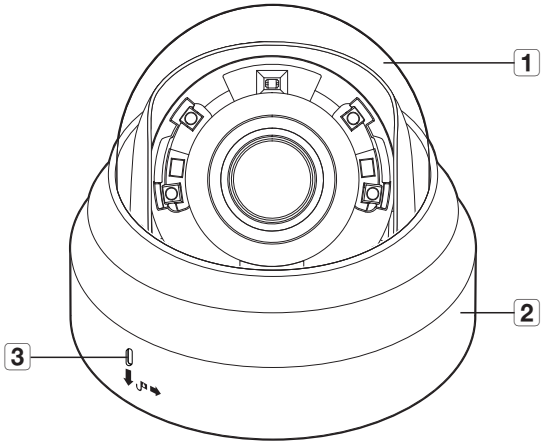
部品



項目	説明	
1 内部カバー	本体用の保護カバー。	
2 照度センサー	入射光を検知して、赤外線LEDを制御します。	
3 レンズ	カメラのレンズ。	
4 赤外線LED	これらの赤外線LEDは照度センサーによって制御されます。	
5 リセット・ボタン	すべてのカメラ設定を工場出荷時のデフォルトに復元します。 約5秒間押し続けてシステムを再起動します。 ! カメラをリセットすると、DHCPを有効化されるようにネットワーク設定が調整されます。ネットワーク内にDHCPサーバーがない場合は、Device Managerプログラムを用いて基本的なネットワーク設定(IPアドレス、Subnet Mask、Gatewayなど)を再設定してから接続することができます。	
6 テストモニター出力	ビデオ出力のテスト監視用出力ポートです。テストモニターケーブルを使用して、モバイルディスプレイに接続し、テストビデオをチェックします。	
7 アラーム入出力ポート	ARM-IN	アラーム入力センサーや外部デイ/ナイトセンサーを接続するために使用します。
	ARM-OUT	アラーム出力信号の接続に使用します。
	GND	アラーム入力/出力信号を接続する共通ポートがあります。
8 マイクの穴	マイクは内蔵されています。	
9 電源ポート	電源端子台用ポート。	
10 マイクロSDメモリカードの区画	マイクロSDメモリカードの区画。	
11 ネットワークポート	ネットワーク接続用のPoEまたはイーサネットケーブルの接続に使用します。	

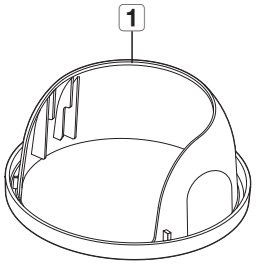
概観 (QND-6072R/6082R)

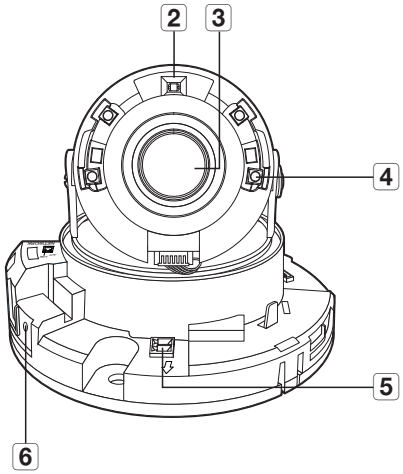
外観

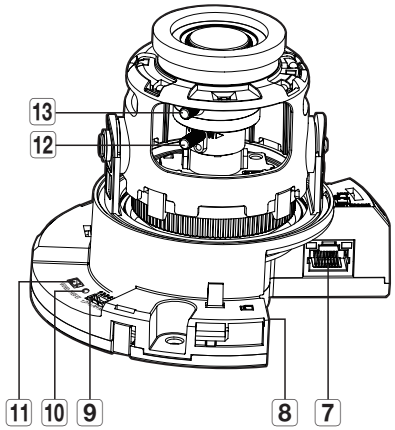


項目	説明
1 ドームカバー	レンズとメインユニットの保護に使用するケースカバー。
2 カメラケース	カメラ本体を保護するハウジング部分。
3 マイクの穴	マイクは内蔵されています。

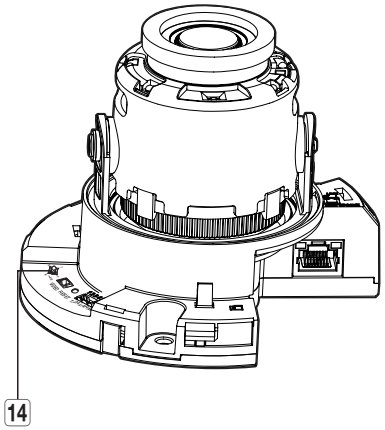
部品







<QND-6072R>



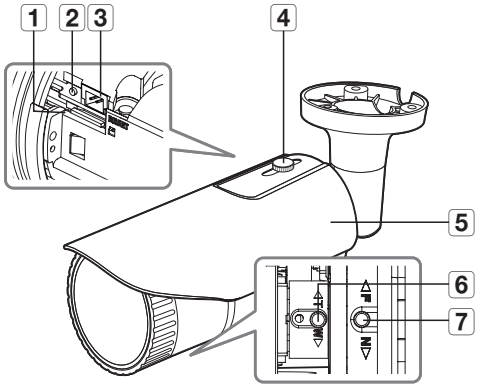
<QND-6082R>

項目	説明	
1 内部カバー	本体用の保護カバー。	
2 照度センサー	入射光を検知して、赤外線LEDを制御します。	
3 レンズ	カメラのレンズ。	
4 赤外線LED	これらの赤外線LEDは照度センサーによって制御されます。	
5 電源ポート	電源端子台用ポート。	
6 マイクの穴	マイクは内蔵されています。	
7 ネットワークポート	ネットワーク接続用のPoEまたはイーサネットケーブルの接続に使用します。	
8 マイクロSDメモリカードの区画	マイクロSDメモリカードの区画。	
9 アラーム入出力ポート	ARM-IN	アラーム入力センサーや外部デイ/ナイトセンサーを接続するために使用します。
	ARM-OUT	アラーム出力信号の接続に使用します。
	GND	アラーム入力/出力信号を接続する共通ポートがあります。
10 リセット・ボタン	すべてのカメラ設定を工場出荷時のデフォルトに復元します。 約5秒間押し続けてシステムを再起動します。 ! カメラをリセットすると、DHCPを有効化されるようにネットワーク設定が調整されます。ネットワーク内にDHCPサーバーがない場合は、Device Managerプログラムを用いて基本的なネットワーク設定(IPアドレス、Subnet Mask、Gatewayなど)を再設定してから接続することができます。	
11 テストモニター出力	ビデオ出力のテスト監視用出力ポートです。テストモニターケーブルを使用して、モバイルディスプレイに接続し、テストビデオをチェックします。	

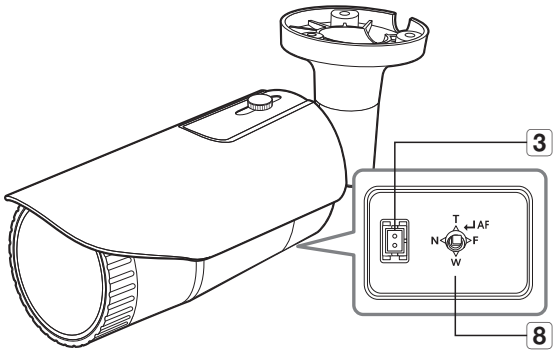
項目	説明	
12 ズームコントロール・レバー (QND-6072R)	T	ズームイン(望遠)
	W	ズームアウト(広角)
	レバーをリリースし、左右に動かしてレンズをズームイン/ズームアウトします。 レバーを時計回りに回し、調整したポジションに固定して動かないようにします。	
13 フォーカスコントロール・レバー (QND-6072R)	N	近くのオブジェクト(Near)に焦点を当てる
	F	遠いオブジェクト(Far)に焦点を当てる
	レバーをリリースし、左右に動かしてレンズのフォーカスを調整します。 レバーを時計回りに回し、調整したポジションに固定して動かないようにします。	
14 ズーム/フォーカスコントロールボタン (QND-6082R)	T	ズームイン(望遠)
	W	ズームアウト(広角)
	N	近くのオブジェクト(Near)に焦点を当てる
	F	遠いオブジェクト(Far)に焦点を当てる
	焦点制御	オートフォーカス制御設定は、このボタンを押します。

概観 (QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP)

外観



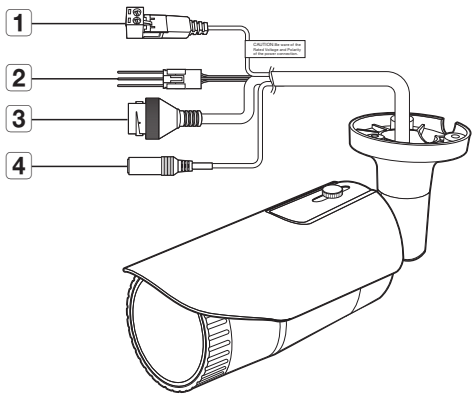
<QNO-6072R>



<QNO-6082R/6082RLP>

項目		説明	
1	MicroSDカードスロット	(製品の内部空間) MicroSDカードを挿入できるスロットです。	
2	リセット・ボタン	すべてのカメラ設定を工場出荷時のデフォルトに復元します。 約5秒間押し続けてシステムを再起動します。 ! カメラをリセットすると、DHCPを有効化されるようにネットワーク設定が調整されます。ネットワーク内にDHCPサーバーがない場合は、Device Managerプログラムを用いて基本的なネットワーク設定(IPアドレス、Subnet Mask、Gatewayなど)を再設定してから接続することができます。	
3	テストモニター出力	ビデオ出力のテスト監視用出力ポートです。テストモニターケーブルを使用して、モバイルディスプレイに接続し、テストビデオをチェックします。	
4	サンシェード固定ネジ	サンシェードをカメラに固定します。	
5	サンシェード	カメラを直射日光から保護します。	
6	ズームコントロール・レバー (QNO-6072R)	T	ズームイン(望遠)
		W	ズームアウト(広角)
		レバーをリリースし、左右に動かしてレンズをズームイン/ズームアウトします。 レバーを時計回りに回し、調整したポジションに固定して動かないようにします。	
7	フォーカスコントロール・レバー (QNO-6072R)	N	近くのオブジェクト(Near)に焦点を当てる
		F	遠いオブジェクト(Far)に焦点を当てる
		レバーをリリースし、左右に動かしてレンズのフォーカスを調整します。 レバーを時計回りに回し、調整したポジションに固定して動かないようにします。	
8	ズーム/フォーカスコントロールボタン (QNO-6082R/6082RLP)	T	ズームイン(望遠)
		W	ズームアウト(広角)
		N	近くのオブジェクト(Near)に焦点を当てる
		F	遠いオブジェクト(Far)に焦点を当てる
		焦点制御	オートフォーカス制御設定は、このボタンを押します。

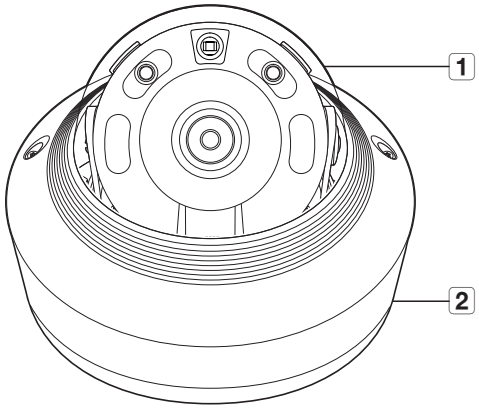
部品



項目		説明	
1	電源ポート	電源ケーブルの差込みに使用します。	
2	アラーム入出力ポート	ARM-OUT	アラーム出力信号の接続に使用します。
		GND	アラーム入力/出力信号を接続する共通ポートがあります。
		ARM-IN	アラーム入力センサーや外部デイ/ナイトセンサーを接続するために使用します。
3	ネットワークポート	ネットワーク接続用のPoEまたはイーサネットケーブルの接続に使用します。	
4	音声入力ジャック	マイクの接続に使用します。	

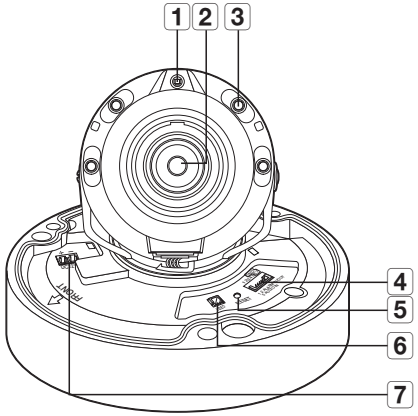
概観 (QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP)

外観

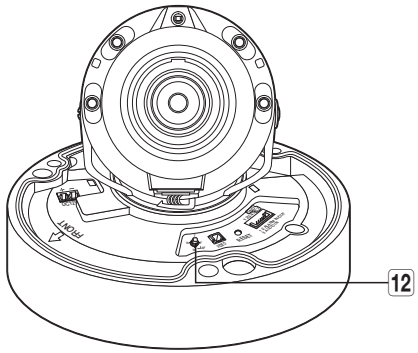


項目	説明
1 ドームカバー	レンズとメインユニットの保護に使用するケースカバー。
2 カメラケース	カメラ本体を保護するハウジング部分。

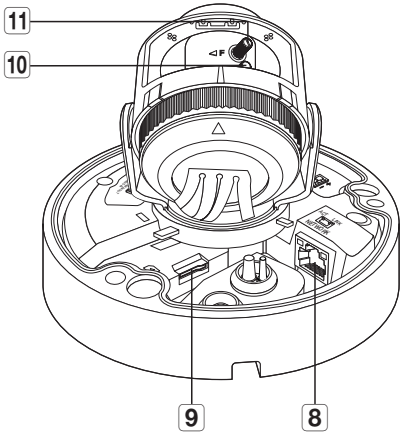
部品



<QNV-6072R>



<QNV-6082R/6082RLP>



<QNV-6072R>

項目	説明	
1 照度センサー	入射光を検知して、赤外線LEDを制御します。	
2 レンズ	カメラのレンズ。	
3 赤外線LED	これらの赤外線LEDは照度センサーによって制御されます。	
4 オーディオポート及びアラームケーブルポート	ARM-IN	アラーム入力センサーや外部デイ/ナイトセンサーを接続するために使用します。
	ARM-OUT	アラーム出力信号の接続に使用します。
	GND	アラーム入力/出力信号を接続する共通ポートがあります。
	AUDIO IN	マイクの接続に使用します。
5 リセット・ボタン	すべてのカメラ設定を工場出荷時のデフォルトに復元します。 約5秒間押し続けてシステムを再起動します。 ! カメラをリセットすると、DHCPを有効化されるようにネットワーク設定が調整されます。ネットワーク内にDHCPサーバーがない場合は、Device Managerプログラムを用いて基本的なネットワーク設定(IPアドレス、Subnet Mask、Gatewayなど)を再設定してから接続することができます。	
6 テストモニター出力	ビデオ出力のテスト監視用出力ポートです。テストモニターケーブルを使用して、モバイルディスプレイに接続し、テストビデオをチェックします。	
7 電源ポート	電源端子台用ポート。	
8 ネットワークポート	ネットワーク接続用のPoEまたはイーサネットケーブルの接続に使用します。	
9 マイクロSDメモリカードの区画	マイクロSDメモリカードの区画。	
10 ズームコントロール・レバー (QNV-6072R)	T	ズームイン(望遠)
	W	ズームアウト(広角)
	レバーをリリースし、左右に動かしてレンズをズームイン/ズームアウトします。 レバーを時計回りに回し、調整したポジションに固定して動かないようにします。	
11 フォーカスコントロール・レバー (QNV-6072R)	N	近くのオブジェクト(Near)に焦点を当てる
	F	遠いオブジェクト(Far)に焦点を当てる
	レバーをリリースし、左右に動かしてレンズのフォーカスを調整します。 レバーを時計回りに回し、調整したポジションに固定して動かないようにします。	

項目	説明	
12 ズーム/フォーカスコントロールボタン (QNV-6082Rz/6082RLP)	T	ズームイン(望遠)
	W	ズームアウト(広角)
	N	近くのオブジェクト(Near)に焦点を当てる
	F	遠いオブジェクト(Far)に焦点を当てる
	焦点制御	オートフォーカス制御設定は、このボタンを押します。

取付けおよび接続

取付け (QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R)

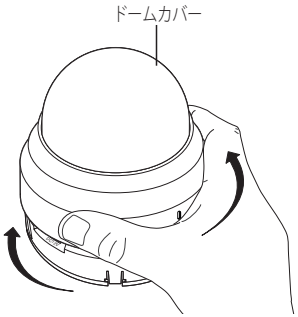
取付けに関する注意事項

カメラを取り付ける前に、以下の指示をよく読んでください。

- 取付ブラケットを含むカメラの5倍の重量に耐えることができる場所（天井または壁）にインストールする必要があります。
- 引っかかっていたり、はがれたケーブルは製品の損傷または火災の原因となります。
- 安全のため、設置場所に人を近づけないでください。
  また、万が一のため持ち物は取付け場所には置かないでください。

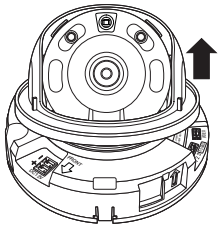
取外し

1. 片手でカメラの底部をおさえて、別の手で反時計回りにカバーを回し、取り外します。



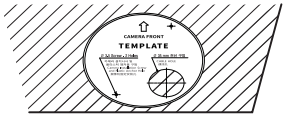
! ■ 保護フィルムを取り除いてから、ドームカバーの透明な部分を手で握らないでください。

2. 内側のカバーを持ち上げて取り外します。

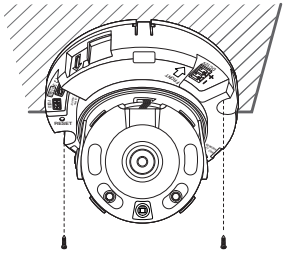


取付け

1. モニタリングを行う方向を念頭において、テンプレートを貼り付け、テンプレートに従って穴を開けます。

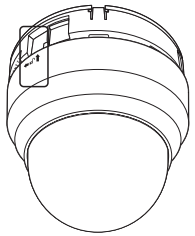


2. 二つのタッピングねじを使用してテンプレートで開いたホール2箇所にカメラを固定させてください。
   ■ 刻印された <⇧> マークがカメラの監視方向を向くようにセットします。
3. 対応するケーブルを用いカメラ内部の端末を接続します。
4. " **カメラの監視方向の調整** " セクションを参照してレンズを目的の方向に調整します。(23ページ)

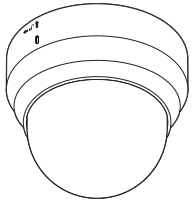


! ■ カメラのレンズは製造の最終工程の段階で、適切な場所に焦点が合わせられているため、レンズには触れないようにしてください。もし触れてしまうと、レンズの焦点がずれるか、異物により汚れるおそれがあります。

5. 内側のカバーを本体に接続します。
6. カメラの底面を掴み、もう片方の手でカバーを掴んで押して図のように2つの矢印マークを揃えます。



! ■ ドームカバーを組み立てるには、矢印同士を一致させ、カバーをしっかりと押してください。
  ドームカバーを回転させ組み立てたり、正確に組み立てない場合、乱反射現象が発生したり、レンズ部分が回転し撮影範囲が変更されることがあります。
  ■ 図に示すように、ドームカバーが正しく底部に接続されていることを確認します。
  スナップフィットが正しく接続されていないと、ドームカバーが倒れ、けがの原因になる場合があります。



取付け (QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP)

- 本カメラは防水であり、IP66仕様に準拠していますが、外部ケーブルに接続されるジャックはそうではありません。ケーブルが外部に突出するのを防止するために軒先の下に本製品をインストールすることをお勧めします。

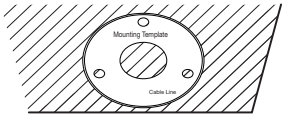
取付けに関する注意事項

カメラを取り付ける前に、以下の指示をよく読んでください。

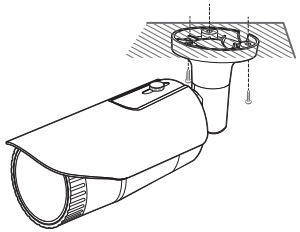
- 取付ブラケットを含むカメラの5倍の重量に耐えることができる場所（天井または壁）にインストールする必要があります。
- 引っかかっていたり、はがれたケーブルは製品の損傷または火災の原因となります。
- 安全のため、設置場所に人を近づけないでください。
  また、万が一のため持ち物は取付け場所には置かないでください。
- サンシールド用ホールは、サンシールドを接続する以外の目的で使用してはなりません。
- 手動の焦点可変レンズカメラでは、フォーカスやズームのような機能は取付け前に調整しなければなりません。これらを調整する際、異物が付着しないように注意してください。

取付け

1. モニタリングを行う方向を念頭において、テンプレートを貼り付け、テンプレートに従って穴を開けます。

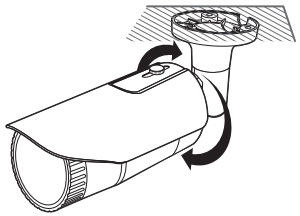


2. 3つのタッピングねじを使用してホール3箇所にカメラを固定させてください。
3. 適切なケーブルをカメラ端末に接続します。



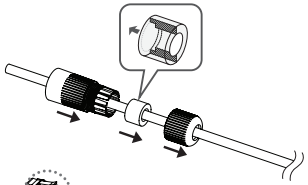
4. 付属のL型レンチを使用してカメラ方向を調節します。

- ブラケットを使用してカメラ位置を調整するとき、ブラケットねじを緩め、カメラを調節し、締め付けます。ねじが固定されている状態で力任せに調節しようとすると、傷がつく恐れがあります。

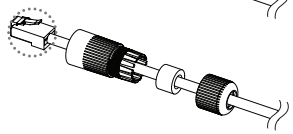


RJ45防水ケーブルをLANケーブルに接続する方法

1. 矢印の方向に挿入します。

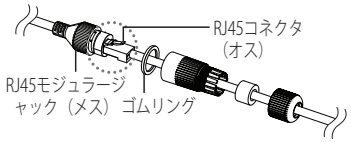


2. LANコネクタ（オス）をケーブルに接続します。

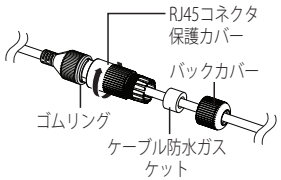


3. RJ45モジュラージャック（メス）をRJ45コネクタ（オス）に接続します。

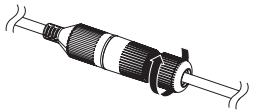
- 部品はそれぞれ分かれたままにしてください。



4. RJ45モジュラージャック（メス）とRJ45保護カバーを時計回りに回転させて組み立てます（矢印に従う）。



5. RJ45保護カバーとバックカバーを時計回りに回転させて組み立てます（矢印に従う）。
   バックカバーを組み立てるとき、ケーブル防水ガスケットをケーブルにしっかり取り付けて防水します。

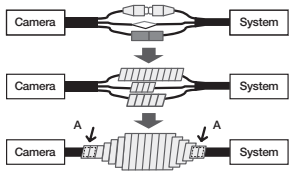


- これを完全に組み立て、RJ45コネクタのねじ山の端までバックカバーを回転させます。

屋外設置

建物の外に本製品を取り付ける際、屋外に接続されたケーブルとの隙間から水が漏入しないように、防水ブチルゴムテープ（店舗で購入することができます）を使って防水してください。

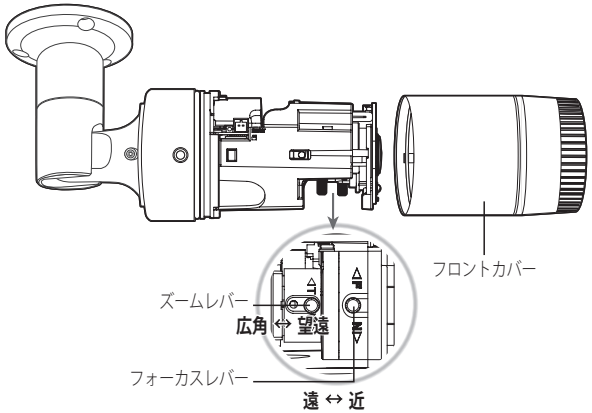
1. 電源、I / O、AUDIO、およびLANケーブルを接続します。
2. 防水ブチルゴムテープの半分以上が重なるようにして黒のケーブルジャケット（エリアA）とケーブル接続箇所を巻きつけます。



- ケーブルジャケットが適切に防水加工されていない場合、それが直接漏れを引き起こす可能性があります。ケーブルをテープで何度も巻くことで保護するようにしてください。
- 防水ブチルテープはブチルゴムで作られており、通常の2倍の長さに伸ばすことができます。

ズーム倍率またはフォーカスの調整 (QNO-6072R)

1. 図のようにフロントカバーをゆるめます。
2. ズーム/フォーカスレバーを少しゆるめます。
3. 必要に応じてズーム/フォーカスレバーを広角(近)または望遠(遠)に合わせます。
4. 次にズーム/フォーカスレバーを締め、調整した位置に固定します。
5. フロントカバーを回して締めます。



- 完全に防水するため、フロントカバーを最後までしっかり回して締めてください。
  フロントカバーを組付けるとき、本体とフロントカバーを合わせ、LOCKインジケータが連結されるようにしてください。
- レバーを使用してズーム倍率またはフォーカスを調整し、レバーを時計方向に回して固定します。
- レンズのズーム倍率/フォーカスを調整する前に、フロントカバーをゆるめて外してください。

取付け (QNV-6012R/6022R/6032R)

- 本カメラは防水であり、IP66仕様に準拠していますが、外部ケーブルに接続されるジャックはそうではありません。ケーブルが外部に突出するのを防止するために軒先の下に本製品をインストールすることをお勧めします。

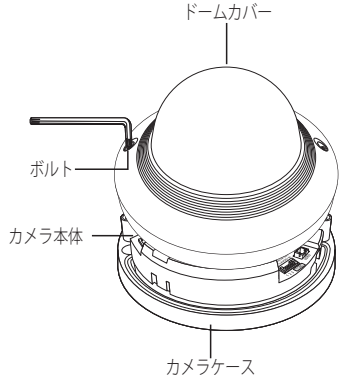
取付けに関する注意事項

カメラを取り付ける前に、以下の指示をよく読んでください。

- 取付ブラケットを含むカメラの5倍の重量に耐えることができる場所（天井または壁）にインストールする必要があります。
- 引っかかっていたり、はがれたケーブルは製品の損傷または火災の原因となります。
- 安全のため、設置場所に人を近づけないでください。
  また、万が一のため持ち物は取付け場所には置かないでください。

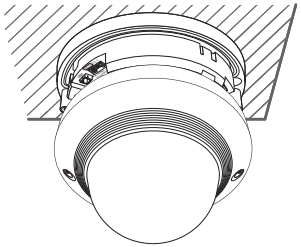
取外し

1. 付属のL型レンチを使用し、ドームカバーの締め付けボルト2つを反時計回りに回し、カバーを取り外します。



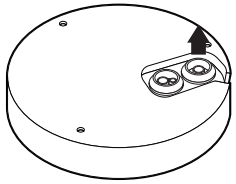
取付け

1. 付属品の型紙を使用し、ネジを通す穴（線径6mm、最小内幅55mm）をドリルで開け、付属品のプラスチックアンカーを端までしっかりと挿入します。
2. 下部の穴をアンカーの穴に固定し、タッピングネジ（M4.5xL50）を挿入して固定します。
3. 必要なケーブルを接続して、カメラ取付け時に損傷したりねじれないように配線します。
4. "**カメラの監視方向の調整**"セクションを参照してレンズを目的の方向に調整します。(23ページ)
5. ドーム型カバーを閉じてください。
   - L型レンチを使用し締め付けボルトを確実に締め、水漏れを防ぎます。



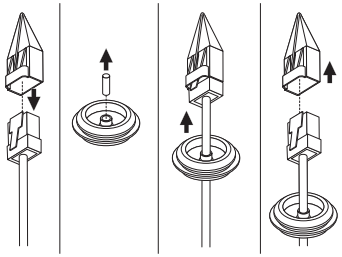
LANケーブルを接続する

1. ドーム型カバー及びケースを取り外してください。
2. 図に示すように地面にあるケーブルブッシュを引っ張って取り除いてください。

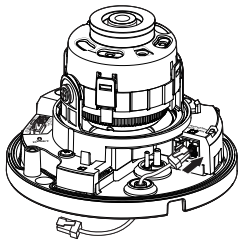


- LANケーブルと接続するのに適切なケーブルブッシュを使用してください。
  - 基本のカメラ:直径5.0~6.5mmのケーブルを使用してください。

3. 提供された1ホールケーブルブッシュの突出部をはがしてください。
4. キャップインストーラーを使用してLANケーブルを通過させてください。

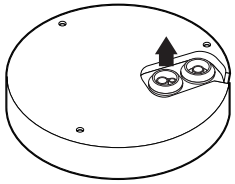


5. 2番でケーブルブッシュを取り除いてできたホールでLANケーブルを入れ、イーサネット端子に接続させてください。
6. LANケーブルにあるブッシュをホールにはめてください。

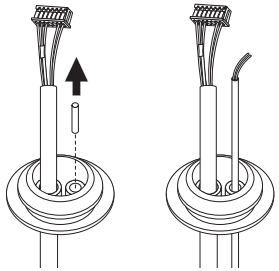


オーディオ/アラームケーブル及び電源ケーブルを接続する

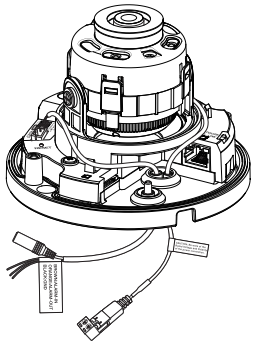
1. ドーム型カバー及びケースを取り外してください。
2. 図に示すように地面にあるケーブルブッシュを引っ張って取り除いてください。



3. アラーム/オーディオケーブルにあるブッシュの小さい突出部をはがし、電源ケーブルを通過させてください。



4. 2番でケーブルブッシュを取り除いてできたホールでアラーム/オーディオケーブルや電源ケーブルを入れ、それぞれのPCBのアラームターミナルと電源ターミナルブロックに接続させてください。
5. カメラをインストールする場合、ケーブルが損傷されたり挟まらないように固定フックにかけてケーブルを整えてください。
6. アラーム/オーディオケーブルにあるブッシュをホールにはめてください。
7. "**カメラの監視方向の調整**"セクションを参照してレンズを目的の方向に調整します。(23ページ)
8. ーム型カバーを取り付けてください。



取付け (QNV-6072R/6082R/6082RLP)

- 本カメラは防水であり、IP66仕様に準拠していますが、外部ケーブルに接続されるジャックはそうではありません。ケーブルが外部に突出するのを防止するために軒先の下に本製品をインストールすることをお勧めします。

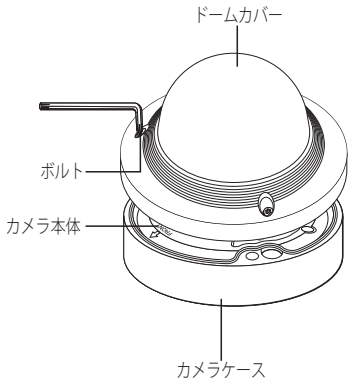
取付けに関する注意事項

カメラを取り付ける前に、以下の指示をよく読んでください。

- 取付ブラケットを含むカメラの5倍の重量に耐えることができる場所（天井または壁）にインストールする必要があります。
- 引っかかっていたり、はがれたケーブルは製品の損傷または火災の原因となります。
- 安全のため、設置場所に人を近づけないでください。
  また、万が一のため持ち物は取付け場所には置かないでください。
- 手動の焦点可変レンズカメラでは、フォーカスやズームのような機能は取付け前に調整しなければなりません。これらを調整する際、異物が付着しないように注意してください。

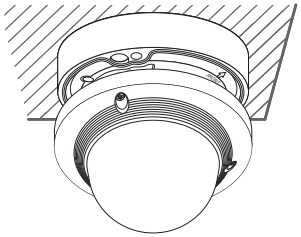
取外し

1. 付属のL型レンチを使用し、ドームカバーの締め付けボルト3つを反時計回りに回し、カバーを取り外します。



取付け

1. 付属品の型紙を使用し、ネジを通す穴（線径6mm、最小内幅55mm）をドリルで開け、付属品のプラスチックアンカーを端までしっかりと挿入します。
2. 下部の穴をアンカーの穴に固定し、タッピングネジ（M4.5xL50）を挿入して固定します。
3. 必要なケーブルを接続して、カメラ取付け時に損傷したりねじれないように配線します。
4. "**カメラの監視方向の調整**"セクションを参照してレンズを目的の方向に調整します。(23ページ)

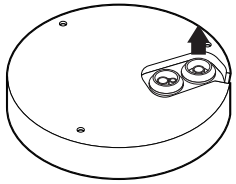


- 手動の焦点可変レンズカメラでは、フォーカスやズームのような機能は取付け前に調整しなければなりません。これらを調整する際、異物が付着しないように注意してください。

5. ドーム型カバーを閉じてください。
   - L型レンチを使用し締め付けボルトを確実に締め、水漏れを防ぎます。

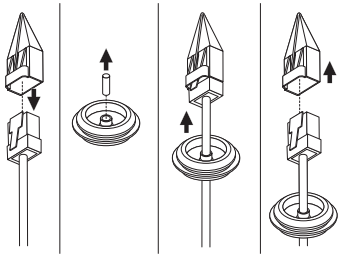
LANケーブルを接続する

1. ドーム型カバー及びケースを取り外してください。
2. 図に示すように地面にあるケーブルブッシュを引っ張って取り除いてください。

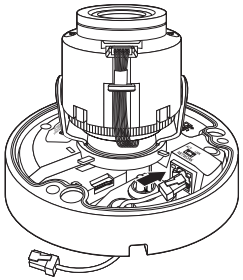


- LANケーブルと接続するのに適切なケーブルブッシュを使用してください。
  - 基本のカメラ:直径5.0~6.5mmのケーブルを使用してください。

3. 提供された1ホールケーブルブッシュの突出部をはがしてください。
4. キャップインストーラーを使用してLANケーブルを通過させてください。

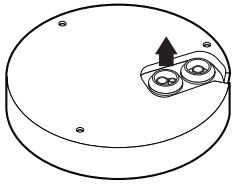


5. 2番でケーブルブッシュを取り除いてできたホールでLANケーブルを入れ、イーサネット端子に接続させてください。
6. LANケーブルにあるブッシュをホールにはめてください。

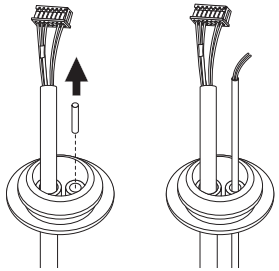


オーディオ/アラームケーブル及び電源ケーブルを接続する

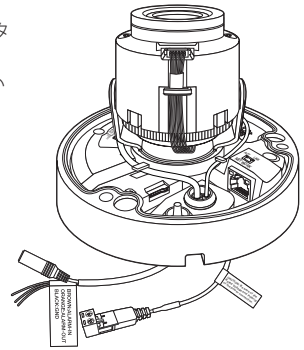
1. ドーム型カバー及びケースを取り外してください。
2. 図に示すように地面にあるケーブルブッシュを引っ張って取り除いてください。



3. アラーム/オーディオケーブルにあるブッシュの小さい突出部をはがし、電源ケーブルを通過させてください。



4. 2番でケーブルブッシュを取り除いてできたホールでアラーム/オーディオケーブルや電源ケーブルを入れ、それぞれのPCBのアラームターミナルと電源ターミナルブロックに接続させてください。
5. カメラをインストールする場合、ケーブルが損傷されたり挟まらないように固定フックにかけてケーブルを整えてください。
6. アラーム/オーディオケーブルにあるブッシュをホールにはめてください。
7. "**カメラの監視方向の調整**"セクションを参照してレンズを目的の方向に調整します。(23ページ)
8. ーム型カバーを取り付けてください。



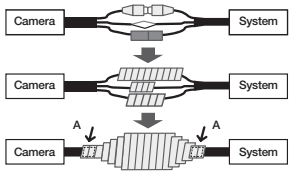
別売りのアダプタへの取付け

次のオプション（別売り）のうち必要なものを、設置場所に合わせてまたは必要に応じて選択および購入してください。

1. "**取外し**"部を参照して、ケースからドーム型カバーを取り外してください。(20ページ)
2. カメラケースをマシンねじを用いて別売りアダプターに固定してください。
3. 必要なケーブルを接続して、カメラ取付け時に損傷したりねじれないように配線します。
4. 分解したときと逆の順序でカメラ本体を"**取外し**"ます。
5. "**カメラの監視方向の調整**"セクションを参照してレンズを目的の方向に調整します。（23ページ）
6. ーム型カバーを閉じてください。
   - L型レンチを使用し締め付けボルトを確実に締め、水漏れを防ぎます。

屋外設置

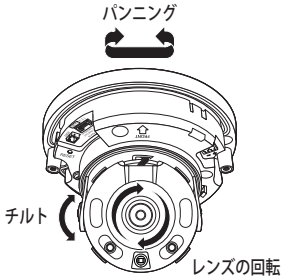
建物の外に本製品を取り付ける際、屋外に接続されたケーブルとの隙間から水が漏入しないように、防水ブチルゴムテープ（店舗で購入することができます）を使って防水してください。



1. 電源、I / O、AUDIO、およびLANケーブルを接続します。
2. 防水ブチルゴムテープの半分以上が重なるようにして黒のケーブルジャケット（エリアA）とケーブル接続箇所を巻きつけます。

- ケーブルジャケットが適切に防水加工されていない場合、それが直接漏れを引き起こす可能性があります。ケーブルをテープで何度も巻くことで保護するようにしてください。
- 防水ブチルテープはブチルゴムで作られており、通常の2倍の長さに伸ばすことができます。

カメラの監視方向の調整 (QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R, QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP)



■ 監視方向の調整

カメラが天井に固定されている場合にのみカメラの方向を調整できます。
この場合、カメラユニットを左右に回すことをパンニング、上下角度を調整することをチルト、軸を中心にレンズを回転することを回転と言います。

- パンニングの有効範囲は合計350度です。
- 回転の有効範囲は合計355度です。
- チルトの有効範囲は合計67度です。

- 角度によっては画像がカメラケースによって覆われることがあります。
- ドームケースを分解した後、無理にフォーカス/ズームレンズを回転させないでください。
  無理に回転すると、モーターが故障して焦点が合わなくなることがあります。

■ 調整方法

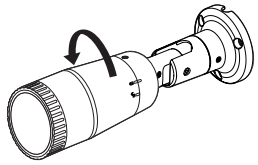
1. カメラを取り付けた後、監視方向に応じてパンニングの角度を調整します。
2. 画像が反転しないように水平角を設定します。
3. カメラが監視する被写体の方向を向くようにチルトの角度を調整します。

マイクロSDメモリカードの挿入/取出し

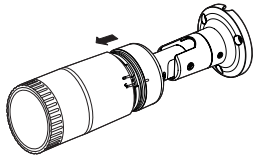
- マイクロSDメモリカードを挿入する前に、カメラの電源ケーブルを抜いてください。
- 上下反対のままマイクロSDメモリカードを無理に挿入しないでください。
  無理に差し込むと、マイクロ SDメモリカードが破損する恐れがあります。
- 雨あるいは高湿度の状態でMicroSDカードを挿入したり取り出したりすることは推奨されません。
- 取り外した製品カバーは5分以内に戻す必要があります。そうしなかった場合、内部結露が起こるリスクがあります。

マイクロSDメモリカードの挿入 (QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP)

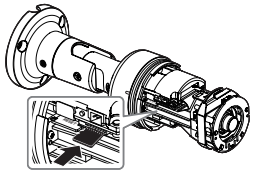
1. フロントカバーをアンロック [🔓] 方向に回してください。



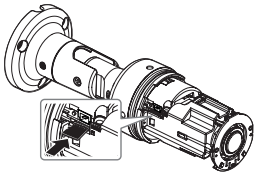
2. 前カバーを引き、取り外します。



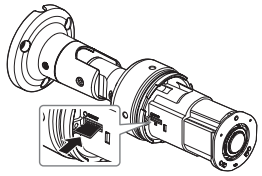
3. 図のように、MicroSDカードを矢印方向へ挿入します。



<QNO-6012R/6022R/6032R>



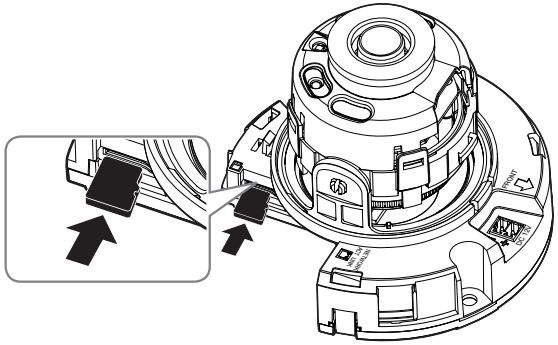
<QNO-6072R>



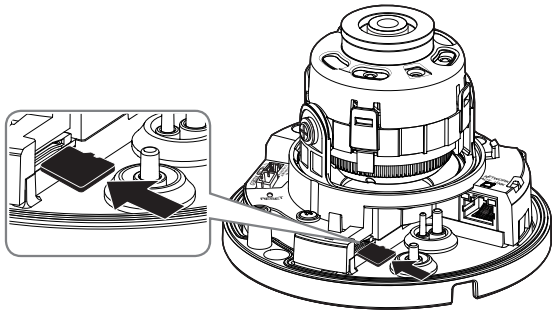
<QNO-6082R/6082RLP>

マイクロSDメモリカードの挿入 (QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R, QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP)

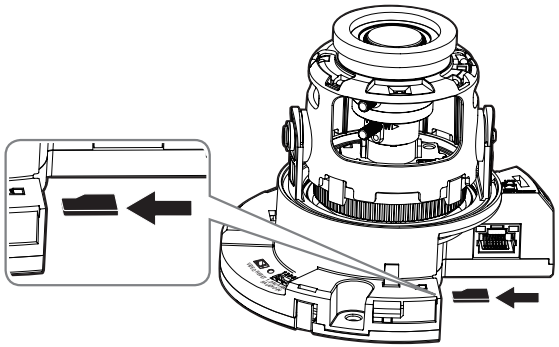
1. カメラのドームカバーを取り外します。
2. 図のように、MicroSDカードを矢印方向へ挿入します。



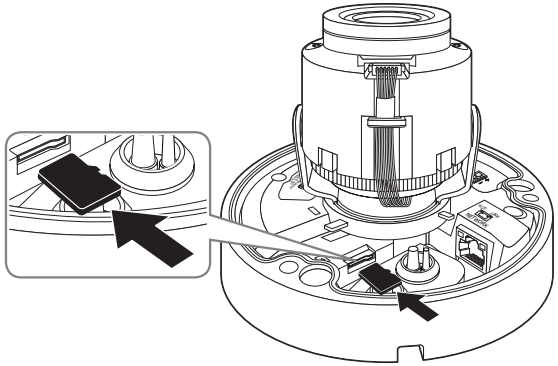
<QND-6012R/6022R/6032R>



<QNV-6012R/6022R/6032R>



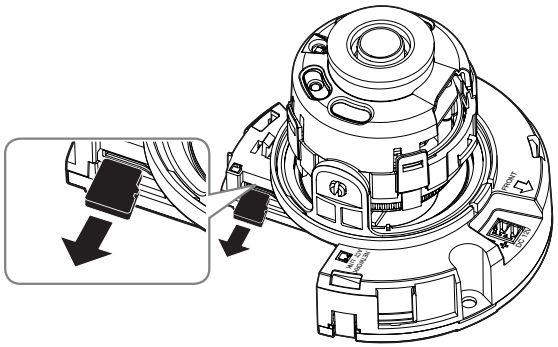
<QND-6072R/6082R>



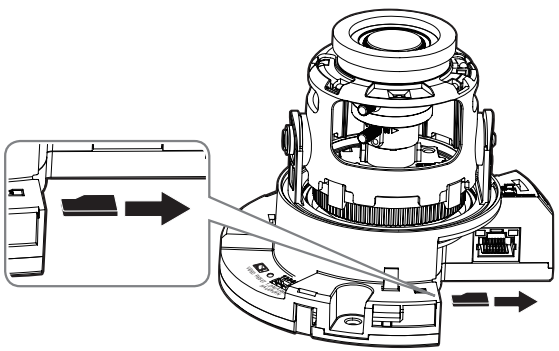
<QNV-6072R/6082R/6082RLP>

マイクロ SDメモリカードの取出し

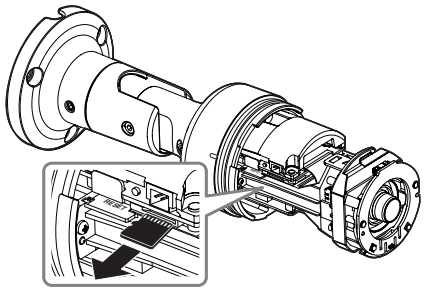
図に示されているように、メモリカードの露出部分を慎重に押して、スロットからメモリカードを取り出します。



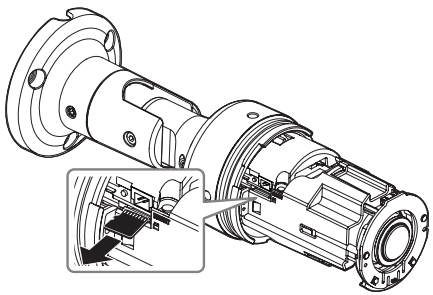
<QND-6012R/6022R/6032R>



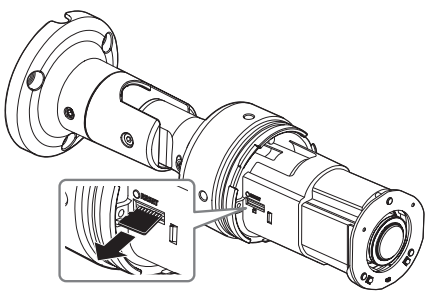
<QND-6072R/6082R>



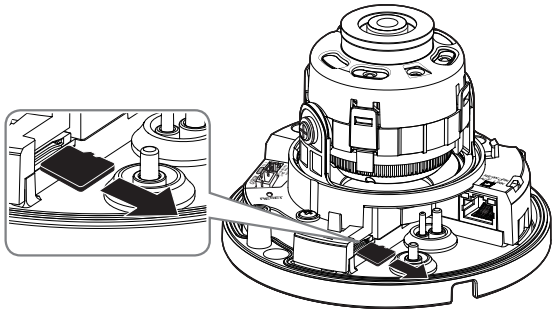
<QNO-6012R/6022R/6032R>



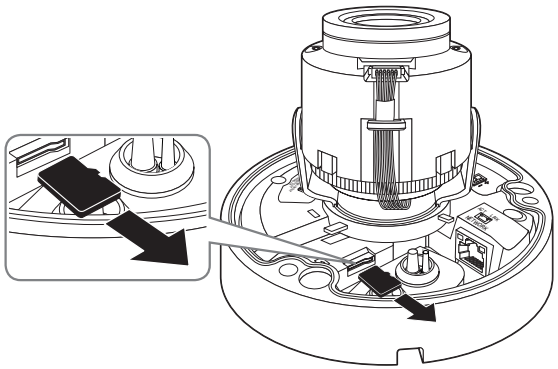
<QNO-6072R>



<QNO-6082R/6082RLP>



<QNV-6012R/6022R/6032R>

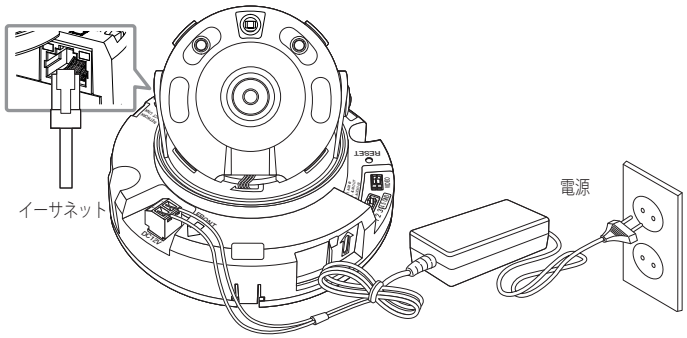


<QNV-6072R/6082R/6082RLP>

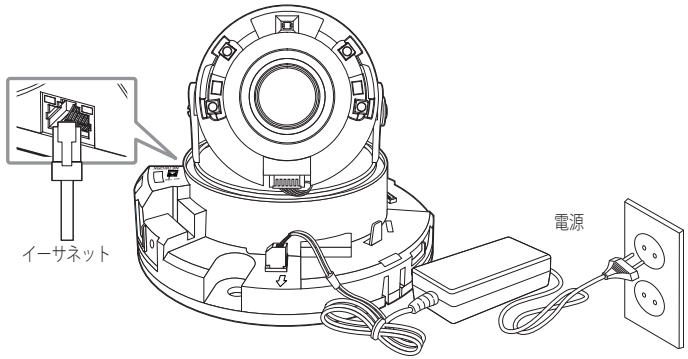
- マイクロ SDメモリカードを強く押しすぎると、手を放したときに、カードがスロットから勢いよく飛び出す可能性があります。
- Micro SDメモリーカードを取り外す前に、<**ストレージ**>でデバイスを<**Off**>に設定し、[**適用**] ボタンを押してカメラをオフにします。
- カメラのスイッチを切るか、データの入っているマイクロ SDメモリーカードを製品から抜くと、データが失われるか、または損傷を受ける場合があります。

電源とネットワーク

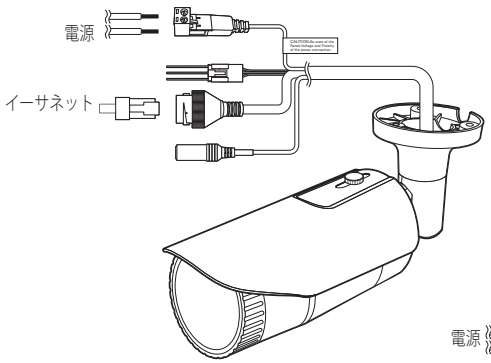
- DC 12 V電源プラグをコンセントに差し込む前にターミナルブロックを先に搭載してください。



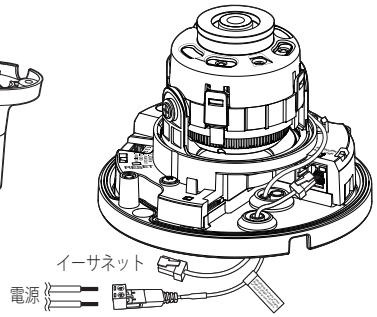
<QND-6012R/6022R/6032R>



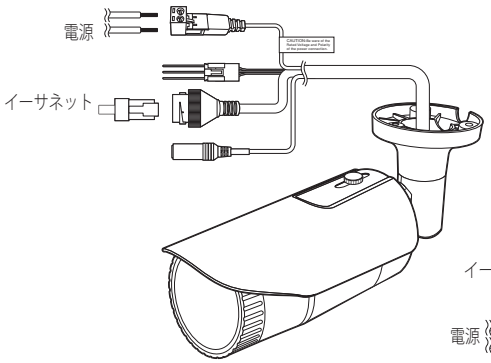
<QND-6072R/6082R>



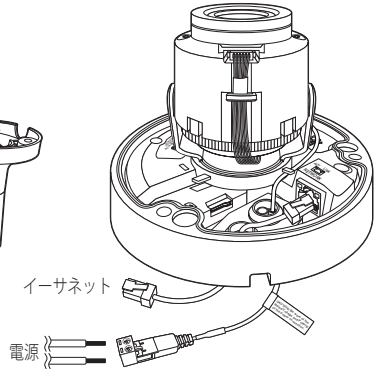
<QNO-6012R/6022R/6032R>



<QNV-6012R/6022R/6032R>



<QNO-6072R/6082R/6082RLP>



<QNV-6072R/6082R/6082RLP>

イーサネット接続

イーサネットケーブルをローカルネットワークもしくはインターネットに接続します。

電源

ドライバーを使用して、電源ケーブルの各線（+、–）をカメラの対応する電源ポートに接続します。

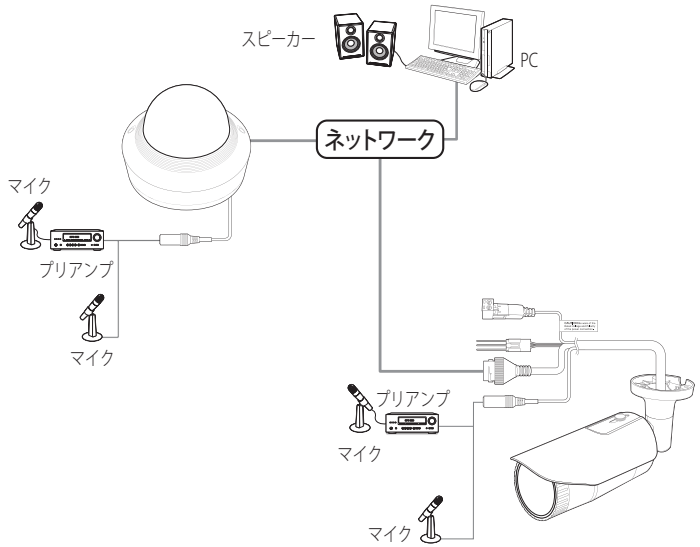
- PoE、DC 12V電源を同時投入すると、デバイスの電源はDC 12Vに動作します。
  - また、PoE対応ルーターを使用して、カメラに電源を供給することもできます。
  - IEEE 802.3afプロトコルに準拠したPoEを使用してください。
  - PoEとDC 12Vから1つの電源のみを使用することをお勧めします。
- 電源ケーブルの接続時に、極性を逆にしないようご注意ください。
- 外部デバイスを接続する場合は、作業を進める前に外部デバイスの電源を切る必要があります。

ネットワークケーブルの仕様

アイテム	コンテンツ	備考
コネクタ	RJ45	
イーサネット	10/100BASE-T	10/100 Mbps
ケーブル	カテゴリ 5e	
最大距離	100M	DC抵抗 ≦ 0.125 Ω/m
PoE サポート	IEEE 802.3af	

- カテゴリー5e標準以外のケーブルを使用する場合、100mの伝送距離は保証されません。

音声入力への接続



1. カメラのAUDIO INポートにLINE OUTポートまたはマイクを接続してください。

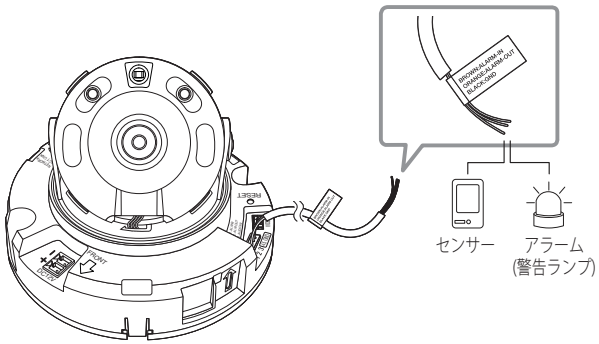
- QNDモデルは、カメラに内蔵されたマイクのみ使用できます。

2. 音声入力の仕様を確認します。

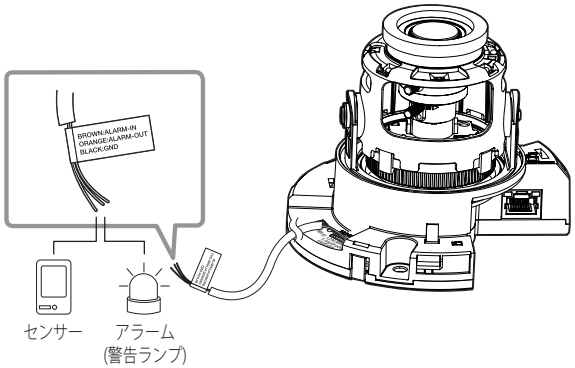
- **音声コーデック**
  - 音声入力：G.711 PCM (ビットレート: 64kbps / サンプリング周波数: 8kHz)、G.726 ADPCM (ビットレート: 16Kbps、24Kbps、32Kbps、40Kbps / サンプリング周波数: 8kHz)
- **全二重音声**
- **音声入力 (QND-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R)** : 内蔵マイク
- **音声入力 (QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP, QNV-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP)** : 選択可能 (マイク/ライン入力)、サポートされる電圧: 2.5VDC (4mA)、入力インピーダンス: 2K オーム

I/Oポートボックスへの接続

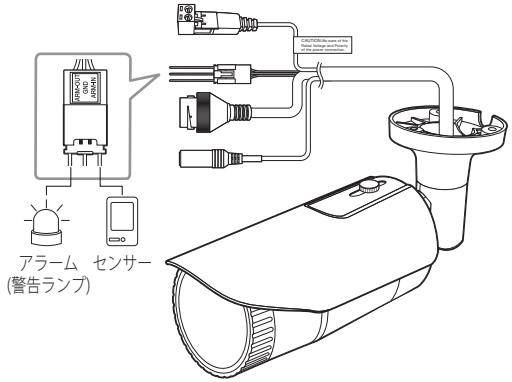
アラーム入・出ケーブルを、ポートボックスの対応する部分と接続してください。



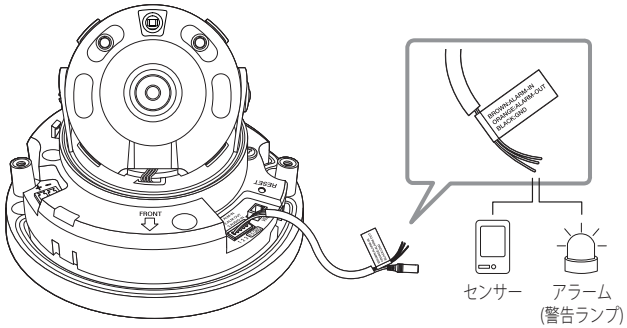
<QND-6012R/6022R/6032R>



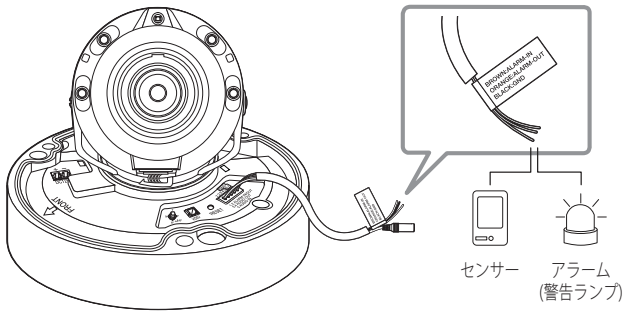
<QND-6072R/6082R>



<QNO-6012R/6022R/6032R/6072R/6082R/6082RLP>



<QNV-6012R/6022R/6032R>



<QNV-6072R>

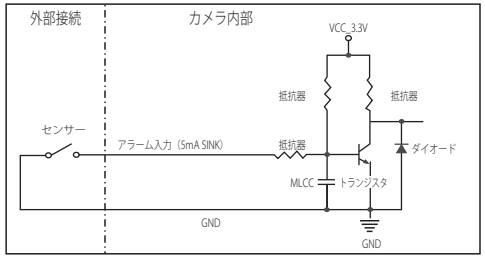
- ALARM-IN : アラーム入力センサーや外部デイ/ナイトセンサーを接続するために使用します。
- ALARM-OUT : アラーム出力信号の接続に使用します。
- GND : アラーム入出力信号用の共通ポートです。

■ 電圧と電流が規格外のデバイス（例：閃光灯やサイレン）をオープンコレクタ方式で接続すると、故障の原因となる場合があります。
電圧と現在の仕様内容を上回っているデバイスを接続するときは、“**アラーム出力配線図**”を参照してください。

外部センサーの接続

センサーの各信号ライン（2つより）の一方を[**ALARM IN**]ポートに接続し、もう一方を[**GND**]ポートに接続します。

アラーム入力配線図

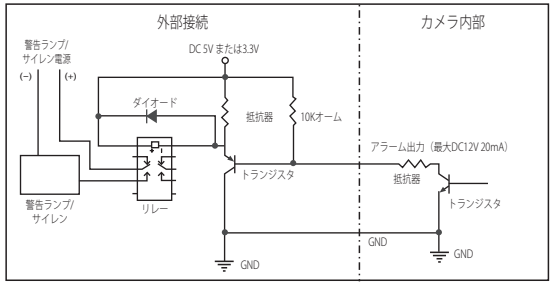


アラーム出力を接続するには

電圧と電流が規格外のデバイス（例：閃光灯やサイレン）をオープンコレクタ方式で接続すると、故障の原因となる場合があります。

電圧と電流が使用設定値を超えるデバイスを接続する場合は、以下のアラーム出力接続図を参照してください。

アラーム出力配線図



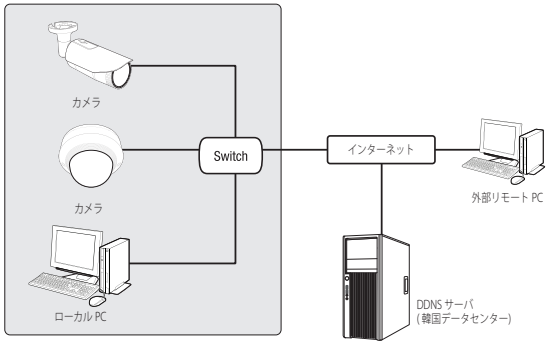
ネットワーク接続と設定

使用中のネットワーク環境に合わせてネットワークを設定することができます。

カメラを直接ローカルネットワークに接続する

LAN のローカル PC からカメラに接続する

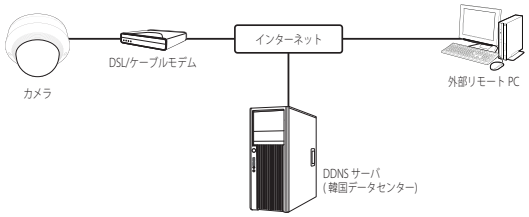
1. ローカル PC でインターネットブラウザを起動します。
2. ブラウザのアドレスバーにカメラの IP アドレスを入力します。



<ローカルネットワーク>

- LAN ネットワーク範囲外の外部インターネットのリモート PC は、ポート転送がきちんと設定されていない場合やファイアウォールが有効の場合には、設置済みカメラとインターネット接続ができない場合があります。この場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- Device Managerで初期パスワード「**4321**」にIPアドレス、Subnet Mask、Gateway、HTTPポート、VNPポート、IPタイプを設定することができます。ネットワークインターフェースを変更してからセキュリティ強化のために、ウェブビューアーに接続して必ずパスワードを変更してください。
- 工場出荷時の設定で、IPアドレスがDHCPサーバーから自動的に割り当てられます。使用可能なDHCPサーバーがない場合、IPアドレスは192.168.1.100に設定されます。IPアドレスを変更するためには、Device Managerを使用してください。Device Managerの使い方は、「**Device Managerを使用する**」をご参照ください。(32ページ)

カメラを直接DHCPベースのDSL/ケーブルモデムに接続する



1. ユーザのPCをネットワークカメラに直接接続します。
2. Device Managerを使用してカメラのIPアドレスをユーザーのパソコンからインターネットブラウザで接続できるIPアドレスに変更してください。
3. インターネットブラウザを使用してWeb Viewerと接続します。
4. [**設定**]ページに移動します。
5. [**ネットワーク**] – [**DDNS**]に移動し、DDNSの設定を行います。
6. [**Basic**] – [**IP & ポート**]へ移動し、IP方式を [**DHCP**] に設定します。
7. PCから取り外したカメラを直接モデムに接続します。
8. カメラを再起動します。

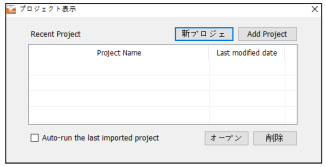
- DDNSの設定方法についての情報は、ウェブビューアのオンラインヘルプを参照してください。
- IPフォーマットの設定方法についての情報は、ウェブビューアのオンラインヘルプを参照してください。

DEVICE MANAGERを使用する

- Device Managerプログラムは、Hanwha Visionのウェブサイト(https://www.HanwhaVision.com)に接続して<**顧客支援**> - <**オンラインツール**>でダウンロードすることができます。
- Device Managerの詳しい使い方は、トップの<**ヘルプ**>メニューで確認することができます。

プロジェクト設定

カメラをプロジェクトごとに保存し、読み込むことができます。
新しいプロジェクトを作成するには、プロジェクト名とパスワードを設定してください。
作成したプロジェクトを実行するには、パスワードの入力が必要です。



自動にカメラを検索する

Device Managerがインストールされたパソコンと同じネットワークにカメラが接続された場合、検索機能でネットワークカメラを探すことができます。

1. Device Managerのトップで<**検索**>をクリックしてください。
2. 検索リストで検索したいカメラが表示されているか確認してください。
   - カメラに付着されたステッカーでMACアドレスを確認してください。

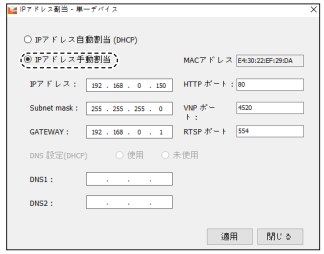
IPアドレスを設定する

カメラのネットワーク設定を変更するためには、<**状態**>項目に<**Login OK**>と表示される必要があります。Device Managerのトップで<**資格**>をクリックすると、ログインできます。

Static IPを設定する

IPアドレス&ポート情報を手動で入力して設定します。

1台のカメラを設定する場合



1. 検索リストでIP設定を変更するカメラをクリックしてください。
2. Device Managerのトップで<**IP割り当てる**>をクリックしてください。
3. <**IPアドレス手動割当**>を選択してください。
   - カメラのIP情報が既存に設定されている値で 表示されます。
4. IP関連項目&ポート関連項目を入力してください。

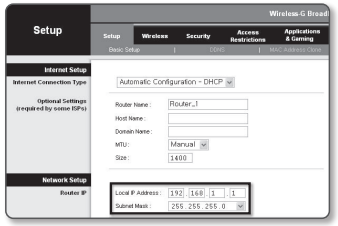
ブロードバンドルーターを使用しない場合

ネットワークマネージャーに<**IPアドレス**>、<**Subnet Mask**>、<**Gateway**>の設定値をお問い合わせください。

- HTTP ポート : インターネットブラウザを使用してカメラにアクセスする際に使用します。初期設定は80です。
- RTSPポート：リアルタイム・ストリーミングを制御するポートであり、初期値は554です。

ブロードバンドルーター使用の場合

- IP Address : ブロードバンドルーターによって指定されたIP範囲でアドレスを入力します。
  例）192.168.1.2~254、192.168.0.2~254、
  192.168.XXX.2～254
- Subnet Mask : ブロードバンドルーターの<**Subnet Mask**>が、カメラの<**Subnet Mask**>となります。
- Gateway : ブロードバンドルーターの<**Local IP Address**>が、カメラの<**Gateway**>となります。



- 設定は、接続しているブロードバンドルーターのモデルによって異なる場合があります。
  詳細は、該当するルーターのユーザーマニュアルを参照してください。
- ブロードバンドルーターのポートフォワーディングの詳細については、"**ートフォワード（ポートマッピング)の設定**"を参照してください。（34ページ）

ブロードバンドルーターに複数のカメラが接続されている場合

IPに関する設定と、ポートに関する設定は別々に設定します。

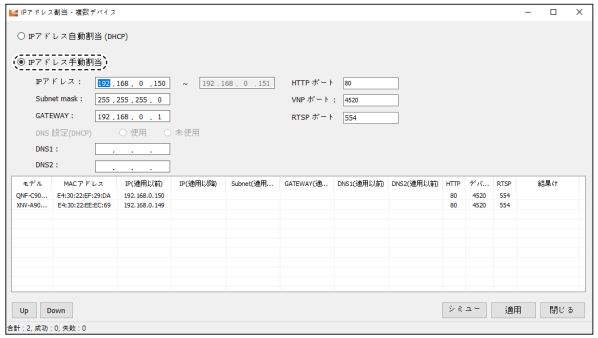
例)

カテゴリ		カメラ #1	カメラ #2
IP設定	IPアドレス Subnet Mask Gateway	192.168.1.100 255.255.255.0 192.168.1.1	192.168.1.101 255.255.255.0 192.168.1.1
ポート設定	HTTP ポート RTSP ポート	8080 554	8081 555

- <**HTTP Port**>が80以外に設定されている場合、カメラにアクセスするには、インターネットブラウザのアドレスバーで<**Port**>番号を設定する必要があります。
  例) http://IPアドレス: HTTPポート
  http://192.168.1.100:8080

5. [**適用**]ボタンをクリックしてください。
6. 成功確認メッセージが表示されたら、[**OK**]ボタンをクリックしてください。

複数のカメラを設定する場合



1. 検索リストでIP設定を変更するカメラをクリックしてください。
2. Device Managerのトップで<**IP割り当てる**>をクリックしてください。
3. <**IPアドレス手動割当**>を選択してください。
4. 割り当てるIPアドレス範囲の開始アドレスを入力してください。
5. [**シミュー**]ボタンをクリックし、各装置に割り当てるIPアドレスを確認します。
   - IPアドレスの項目をダブルクリックすると、それぞれのアドレスを編集できます。
6. [**適用**]ボタンをクリックし、IPの割り当てを開始します。
7. IP割り当ての成否は、<**結果け**>の項目で確認してください。

ダイナミックIPを設定する

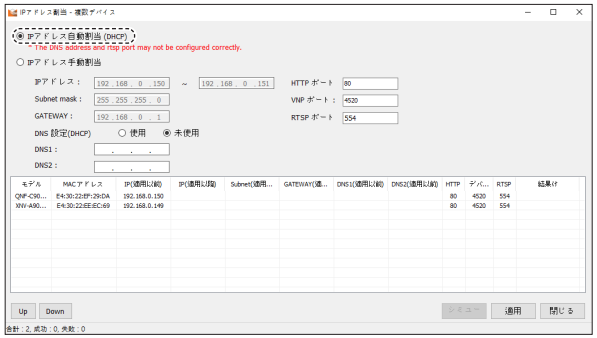
IPアドレスをDHCPで自動に割り当てられます。

- 動的IP環境の例
  - カメラに接続しているブロードバンドルーターが、DHCPサーバーでIPアドレスを割り当てられている場合
  - DHCPプロトコルを使用して直接カメラをモデムに接続する場合
  - IPがLAN経由で内部DHCPサーバーに割り当てられている場合

1台のカメラを設定する場合

1. 検索リストでIP設定を変更するカメラをクリックしてください。
2. Device Managerのトップで<**IP割り当てる**>をクリックしてください。
3. <**IPアドレス自動割当(DHCP)**>を選択してください。
4. [**適用**]ボタンをクリックしてください。
5. 成功確認メッセージが表示されたら、[**OK**]ボタンをクリックしてください。

複数のカメラを設定する場合



1. 検索リストでIP設定を変更するカメラをクリックしてください。
2. Device Managerのトップで<**IP割り当てる**>をクリックしてください。
3. <**IPアドレス自動割当(DHCP)**>を選択してください。
4. [**適用**]ボタンをクリックし、IPの割り当てを開始します。
5. IP割り当ての成否は、<**結果け**>の項目で確認してください。

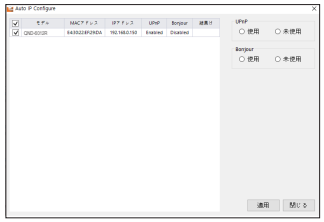
手動でカメラを登録する

検索機能でカメラを探せなかったり、外部ネットワークにカメラを接続した場合、IP情報を手動で入力してリモートでカメラを探して登録することができます。

1. Device Managerのトップで<**デバイス追加**> - <**装備の手動登録**>をクリックしてください。
2. 検索するIPアドレス範囲を入力してください。
3. 登録するカメラの<**モデル名**>を選択してHTTPポート、HTTPSポート、ID、パスワードを入力してください。
4. [**登録**]ボタンをクリックしてください。
5. リストでカメラが登録されているか確認してください。
   - カメラに付着されたステッカーでMACアドレスを確認してください。

自動にIPを設定する

1. 検索リストでIPを自動に設定するカメラをクリックしてください。
2. Device Managerのトップで< + >をクリックしてください。
   - デバイス設定メニューが表示されます。
3. デバイス設定メニューで<**Auto IP Configure**>をクリックしてください。
4. <**UPnP**>または<**Bonjour**>プロトコルを使用する場合は、<**使用**>を選択した後、[**適用**]ボタンをクリックしてください。

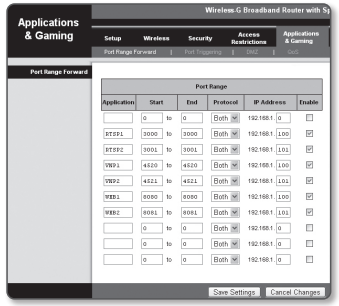


ートフォワード(ポートマッピング)の設定

カメラを接続したままブロードバンドルーターをインストールした場合は、ブロードバンドルーター上でポート範囲フォワードを設定し、ルーター内のカメラにリモートPCからアクセスできるようにする必要があります。

手動ポートフォワード

1. ブロードバンドルーターの設定メニューから<**Applications & Gaming**> - <**Port Range Forward**>を選択します。
   サードパーティのブロードバンドルーター用にポートフォワードを設定するには、ブロードバンドルーターのユーザーマニュアルを参照してください。
2. ブロードバンドルーターに接続されている各カメラ用の、<**TCP**>と<**UDP Port**>を選択します。
   IPルーターに設定する各ポートの数字は、カメラWeb Viewerの<**設定**> - <**Basic**> - <**IP & ポート**>に指定されるポート番号に合わせて設定しなければなりません。
3. 完了後、[**Save Settings**]をクリックします。
   設定が保存されます。

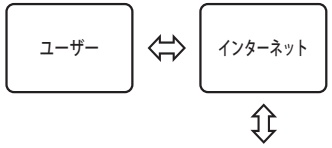


- ポートフォーワーディング設定の説明は、CISCO IPのルーターで設定した例示です。
- 設定は、接続しているブロードバンドルーターのモデルによって異なる場合があります。
  詳細は、該当するルーターのユーザーマニュアルを参照してください。

複数のネットワークカメラに関するポートフォワード範囲設定

- ブロードバンドルーターデバイスの設定Webページで、ポートフォワーディングのルールを設定することができます。
- ユーザーは、カメラ設定画面を使って各ポートを変更できます。

カメラ1とカメラ2がルーターに接続されている場合:



ブロードバンドルーター			
開始	終了	プロトコル	IPアドレス
3000	3000	TCP/UDP	192.168.1.100
3001	3001	TCP/UDP	192.168.1.101
8080	8080	TCP/UDP	192.168.1.100
8081	8081	TCP/UDP	192.168.1.101

カメラ1 (192.168.1.100)	
HTTPポート	8080
RTSPポート	3000

カメラ2 (192.168.1.101)	
HTTPポート	8081
RTSPポート	3001

- ルータがUPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能をサポートしている場合、ポートフォワーディングを追加ルータの設定なしで行うことができます。
  ネットワークカメラ接続後、メニューから、"**設定** -> **ネットワーク** -> DDNS"の<**DDNS**>の<**クイック接続**>のチェックボックスを選択します。

共有ローカルPCからカメラへの接続

1. Device Managerを起動してください。
   接続されているカメラをスキャンし、そのリストを表示します。
2. 目的のプロジェクトを選択した後、[**オープン**]ボタンをクリックしてください。
3. パスワードを入力すると、プロジェクトのカメラリストが表示されます。
4. アクセスするカメラをダブルクリックします。
   インターネットブラウザが起動し、カメラに接続されます。

- インターネットブラウザのアドレスバーに検出されたカメラのIPアドレスを入力し、カメラにアクセスすることもできます。

リモートPCからインターネット経由でのカメラへの接続

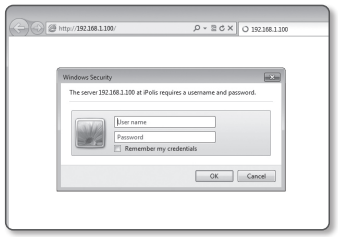
IPルーターのネットワーククラスター外部のリモートパソコンでは、ユーザーがカメラのDDNS URLを用いてIPルーターのネットワーク内部にあるカメラにアクセスすることができます。

1. ブロードバンドルーターのネットワーク内のカメラへアクセスする前に、ブロードバンドルーターにポートフォワードを設定しておく必要があります。
2. リモートPCから、インターネットブラウザを起動しカメラのDDNS URLアドレスを入力するか、アドレスバーでブロードバンドルーターのIPアドレスを入力します。
   例）http://ddns.hanwha-security.com/ID

- DDNSを有効にするためには、DDNSのウェブサイト(http://ddns.hanwha-security.com)で会員登録をした後、[**My DDNS**]>[**製品登録**]で先に製品を登録する必要があります。

カメラへの接続

通常の方法



1. インターネットブラウザを起動します。
2. アドレスバーにカメラのIPアドレスを入力します。
   例) • IPアドレス(IPv4) : 192.168.1.100 ➡ http://192.168.1.100
   - ログインダイアログが表示されます。
   • IPアドレス(IPv6) : 2001:230:abcd: ffff:0000:0000:ffff:1111
   ➡ http://[2001:230:abcd:ffff:0000:0000:ffff:1111] - ログインダイアログが表示されます。

HTTPポートが80以外の場合

1. インターネットブラウザを起動します。
2. アドレスバーにカメラのIPアドレスとHTTPのポート番号を入力します。
   例） IPアドレス : 192.168.1.100:HTTPのポート番号(8080)
   ➡ http://192.168.1.100:8080 - ログインダイアログが表示されます。

URLを使用する場合

1. インターネットブラウザを起動します。
2. アドレスバーにカメラのDDNS URLを入力します。
   例）URLアドレス : http://ddns.hanwha-security.com/ID
   - ログインダイアログが表示されます。

■ ネットワーク接続はLANのみの環境では無効になります。

UPnPを介した接続

1. UPnPプロトコルをサポートするために、クライアント或いはオペレーティングシステムを実行します。
2. 検索するカメラ名をクリックします。
   Windowsオペレーティングシステムでは、ネットワークメニューから検索したカメラ名をクリックします。
   - ログインウィンドウが表示されます。

Bonjourを介した接続

1. Bonjourプロトコルをサポートするためにクライアント或いはオペレーティングシステムを実行します。
2. 検索するカメラ名をクリックします。
   Macのオペレーティングシステムでは、SafariのBonjourタブから検索したカメラ名をクリックします。
   - ログインウィンドウが表示されます。

■ UPnPまたはBonjourプロトコルを使用する場合は、"**自動にIPを設定する**"を参照してください。

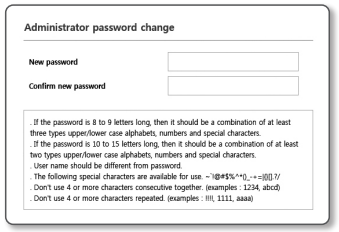
DDNSアドレスを確認するには

カメラを直接DHCPベースのケーブルモデムまたはDSLモデムに接続すると、ISP(ユーザーが契約する会社)に接続を試行する度にIPアドレスが変更されます。
その場合、DDNSによるIPアドレスの変更は通知されません。

動的なIPベースのデバイスをDDNSサーバーに登録すると、そのデバイスにアクセスするときに、変更されたIPを簡単に確認することができます。
使用するデバイスを<**DDNS**>サーバーに登録するには、http://ddns.hanwha-security.comにアクセスして最初にデバイスを登録し、Web Viewerの<**ネットワーク**> - <**DDNS**>を<**DDNS**>に設定し、DDNS登録に使用した<**製品ID**>を指定します。

パスワード設定

本製品を初めて使用する場合、ログインパスワードを登録する必要があります。
"**パスワード変更**"ウィンドウが表示されましたら、新しいパスワードを入力します。

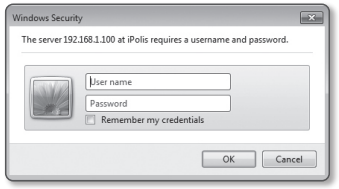


- 新しいパスワードが8～9桁の場合、以下のうち3種類以上を使用する必要があります： 大文字/小文字、数字、特殊文字。パスワードが10～15桁の場合、2種類以上を使用する必要があります。
  - 認められている特別文字： ~`!@#$%^*()_-+=|{}[].?/
- 安全性を高めるため、同じ文字を繰り返したり、キーボード上の連続した文字を入力したりするのはお勧めしません。
- パスワードをなくした場合、[**RESET**]を押して製品を初期化します。そのため、メモ帳を利用したり、記憶したりして、パスワードをなくさないようにしてください。

ログイン

カメラにアクセスするたびに、ログインウィンドウが表示されます。
ユーザーIDとパスワードを入力してカメラにアクセスします。

1. <**User name**>入力ボックスに"**admin**"と入力します。
   管理者ID"**admin**"は、確定されており変更できません。
2. <**Password**>入力欄に入力します。
3. [**OK**]をクリックします。
   正常にログインすると、Live Viewerの画面が表示されます。



- カメラのWebビューアーにアクセスする場合は、画像データが暗号化されているか確認し、セキュリティに特にご注意ください。

- 入力完了時に、"**Remember my credentials**"オプションをチェックしておくと、次回からはログイン情報の入力を求められることなく自動的にログインします。
- 画面サイズが100%である場合、映像画質が最高の状態になります。倍率を小さくすると、境界線上の画像がカットされます。

カメラ・ウェブビューアーの設定

1. [**設定** (⚙)]アイコンをクリックします。
2. 設定画面が現れます。
3. カメラの基本情報、ビデオ、オーディオ、ネットワーク、イベント、分析、ネットワーク全体のシステムの設定を構成することができます。
4. <**ヘルプ** (?)> をクリックして、それぞれの機能の詳細説明を表示します。

トラブルシューティング

問題	解決策
Windows 10ユーザーがChromeまたはFirefoxからウェブビューアにアクセスする場合、マイクロフォンの音声ボリュームは周期的に変わります。	• これは、マイクロフォンのドライバをRealtekドライバに設定している場合に生じます。 High Definition Audioデバイス（Windowsの標準ドライバ）またはサードパーティ製のドライバをマイクロフォン用のドライバとしてインストールします。
Safariを使用してHTTPS経由でプラグインフリーのWeb Viewerにアクセスすると、映像は表示されません。	• https初回接続時に表示されるウェブサイトの認証ポップアップで<証明書の表示>をクリックした後、<Webビューアの設定IPに接続する際、常に信頼する>の項目のチェックボックスを選択してください。 • 以下のメッセージウィンドウで「次へ（Next）」を選択した後にWeb Viewerでの表示に失敗する場合、commandキー + Qを押してSafariブラウザを終了し、再度アクセスして上述の手順に従います。
ウェブブラウザからカメラにアクセスできない。	• カメラのネットワーク設定が適切か確認します。 • ネットワークケーブルがすべてきちんと接続されているか確認します。 • DHCP を使用して接続した場合、カメラが問題なく動的 IPアドレスを取得できたか確認します。 • カメラがブロードバンドルーターに接続している場合、ポート転送がきちんと 設定されているか確認します。
閲覧中にビューアが遮断された。	• カメラまたはネットワーク設定に変更が生じた場合、接続済みビューアは遮断されます。 • ネットワーク接続をすべて確認します。
新規でWebビューアにアクセスしたり、クライアントにストリーミングを接続させたが、映像が出力されません。	• 使用可能なプロファイルの最大数は3つです。 4つ以上のプロファイルを使用すると、接続が切断されることがあります。 例）MJPEG. H.264、H.265接続後、別のプロファイルに接続時、接続切断
Device Managerプログラムでネットワークに接続されたカメラが検索できません。	• 使用中の PC のファイアウォールを無効にし、カメラを再検索してください。
画像がオーバーラップする。	• 複数のカメラが個々のアドレスではなく、単一のマルチキャスト アドレスに設定されているか確認します。複数のカメラが単一アドレスを使用すると、画像がオーバーラップする原因になります。

問題	解決策
画像が表示されない。	• 送信方法がマルチキャストに設定されている場合、カメラが接続しているLAN にマルチキャストに対応しているルータがあるか確認します。
音声入力を設定している場合でも、音声は録音されません。	• <基本> - <ビデオプロファイル> の <音声入力> チェックボックスを有効にしなければなりません。
<アナリティクス>の <モーション検知>は<イベント> に設定されていますが、分析イベントが発生したときであっても、通知用のEメールは到着しません。	• 設定を次の順序で確認します。 A. <日付＆時間>設定をチェックします。 B. <モーション感知>が<使用>に設定されていることを確認します。 C. <イベント設定>メニューの<E-mail>オプションが選択されて使用可能になっているかどうか確認してください。
Micro SDメモリカードに録画できません。	• メモリカードに問題がないか確認してください。
Micro SDメモリカードを挿入しても、カメラが正しく動作しません。	• メモリカードが正しい方向で挿入されているかを確認してください。他のデバイスで初期化されたメモリカードの場合は、このカメラ装置で正常に動作しない可能性があります。 • メモリカードを<設定> ➡ <イベント> ➡ <ストレージ>メニューで再度初期化してください。
NASに記録できません。	• NASに登録した情報が正しいことを確認します。
NAS設定が失敗したと報告が出ています。	• NASのIPアドレスが有効であること。 • NASのID/パスワードが有効であること。 • NASのIDを使う基本フォルダに指定したフォルダにアクセスできること。 • NAS SMB/CIFSの項目をチェックしていないこと。 • NAS IPアドレスとカメラIPアドレスが同じフォーマットであることを確認します。 例）NASとカメラのサブネットマスク値は255.255.255.0です。 IPアドレスが192.168.20.32である場合、NAS IPアドレスは192.168.20.1～192.168.20.255の範囲にある必要があります。 • 保存または使用する基本フォルダを初期化せずに、別のユーザーとして利用しようとしていたかを確認します。 • 推奨されているNAS装置を使用したかどうか確認します。

eco
RoHS compliant

Hanwha Visionでは環境保護のため、製品製造の全工程で環境に配慮しており、より環境に優しい製品をお客様にお届けするため数多くの措置を講じています。
エコマークは、環境に優しい製品を創り出すHanwha Visionの意志を表すとともに、それらの製品が欧州RoHS指令に準拠していることを示しています。

Hanwha
Vision